

施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

担当課：危機管理課

施策名	25 防災・減災・消防
政策名	安心な「暮らし」を守る
施策がめざす将来の姿	・市民が日頃から防災に対する意識を高く持つことで、災害が起こった時に適切な行動をとることができ、被害を最小限に抑える備えができています。

③ 施策評価指標

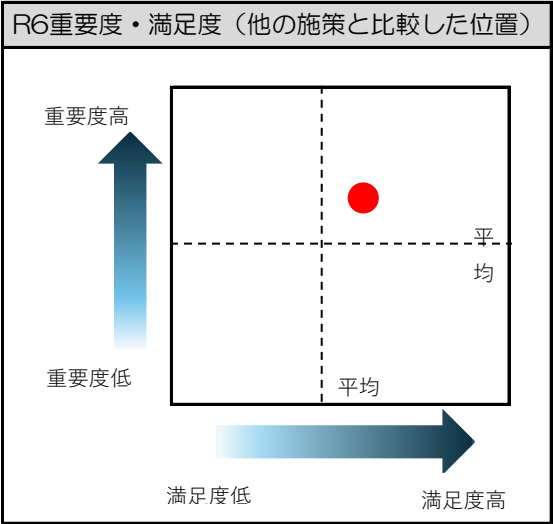
成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標
自主防災会の防災訓練延べ開催数	回	37	150
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	154	170	
あんしんメール登録者の割合	%	35	40
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	41	41	

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（人）
令和6年度
282

満足度（満足している市民の割合）／単位（％）		
令和5年度		令和6年度
91.7		89.9

※増減（→）の基準は3ポイント以上とする



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

本市において甚大な被害が発生した平成30年7月から6年が経過し、市民の災害に対する危機感が次第に薄れている状況です。全国各地において大雨等による災害の局地化・激甚化及び大地震も頻発しており、災害に対する備えや危機感を共有する必要性を感じます。
令和6年6月に施行した「関市防災基本条例」に基づき、市民や事業者、自主防災組織がそれぞれの役割を果たし、適切に行動できるよう、改めて「自助」と「共助」の重要性を伝えていきます。
また、消防団は火災や災害時から地域を守る重要な役割を果たしていることから、団員の確保に向けた取り組みを推進します。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業①：消防団活動支援事業

R6決算額 （千円）	重点化(縮小)する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
99,981	消防団員活動支援（報酬）	→	→	火災等から地域を守る消防団員は年々減少しているため、団員の負担軽減を図るなど団員確保に繋がる取組となるよう見直します。	

事務事業②：自主防災事業

R6決算額 （千円）	重点化(縮小)する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
6,550	災害避難カード作成事業	→	→	「自助」「共助」をより一層推進するため、防災基本条例をもとに、防災の意識向上に向けた周知活動を実施するとともに、市民、事業者それぞれの役割と必要な備えの充実に向け、効果的な取組となるよう見直します。	

事務事業③：防災訓練事業

R6決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
2,318	総合防災訓練事業	→	→	各自主防災組織において、訓練自体の必要性が問われている状態にあります。改めて、災害対策の必要性和防災に対する知識とスキルの習得の必要性を感じられる取組となるよう見直します。	